

議会報告会の質疑応答概要（教育環境委員会）

NO	質疑応答の要旨	
1	Q	資料中の公民館運営事業について差し引きで565万円減額となったとありますが、どのような理由によるものなのか。公民館を利用するとき支払う使用料が減ったということなのか伺いたい。
	A	公民館運営事業については、22年度に比較して差し引きで565万円の減額になりました。この理由は、節電等により光熱費の支出が減ったこと、委託料が安価になったことなどにより、総体的に565万円減額となりました。（山口副委員長）
2	Q	公民館を利用しており、お湯が出ないとか、壊れた箇所が日常茶飯事であり、公民館運営事業が減額になったことがショックです。修繕してほしいところがたくさんあります。公民館運営事業がかさんで困ったというのであれば我慢もできるが、少額で済んだのであれば、もう少し修繕をして欲しい。
	A	修繕料については、22年度決算と比較すると増額になるなど対応しましたが、まだ、いろいろ修繕ができてない箇所があると伺っております。 なお、23年度の公民館運営事業については、事業全体として総体的に減額になったものです。（山口副委員長）
3	Q	公民館運営事業については、節電等を行い減額となったとのことですが、公民館の給湯器については、今、節電のために3階の給湯器が使えず、2階の給湯器を使っていますが不便です。元々、その階にあるのであれば使えて当然ではないでしょうか。 また、公民館利用会議に行くと、6割の節電ということで、蛍光灯が二つに一つは外してあり、全体に会議をしていても暗い状況です。このような状況についてどうなのかと思います。
	A	公民館については数もあり、次々に修繕しています。もうしばらくお待ちいただきたいと思います。（山口副委員長）
4	Q	民間等プール利用事業について、約440万円を支出しているが、春日部市では今後、新しい市民プールを作る予定があるのか伺います。
	A	・市民プールについては、配管等の地下部分が地盤沈下等で、相当劣化している状況にあり、現在、執行部で検討しています。（山口副委員長） ・プール利用事業について、学校のプールを2校ほど開放するなど、工夫はしております。なお、市民プールについては、修理で済むのか、全てを造り直しなのか執行部で検討しているようです。今後、存続、廃止、別の方法なのか、市長から提案、相談があるものと思っています。（滝澤委員）
5	Q	農産物ブランド化について、11品目を開発、また7品目を商品化とありましたが、これは、どういうものなのか伺います。
	A	地域農産物加工品ブランド化推進事業につきましては、おやきが4種類、まんじゅうが5種類、漬物が1種類、アンチョビ、ピクルスと伺っています。（滝澤委員）
6	Q	議会基本条例が、埼玉県で4番目に出来た。春日部市は4番目だということですがけれども、議会と市民の間にどれほどの距離なく話し合いができるかというのが、議会にとって、いわゆる開かれたという意味だと、最初に議長からの言葉で聞きました。 議会報告会が第1回目ですが歓迎をしています。議会との距離が短く話しができれば良いと思います。 しかしながら、議会報告会の資料が難しい。用語が難しい。事業に対して予算がつく訳です。したがって、どんな事業が行われていて、この9月の段階での議会では、この事業はこの段階のものとして、私たちはこう理解した、或いはこの先こうなりますとか、いわゆる事業そのものに対して説明があると、より理解ができます。 また、2日間、2時間ずつ8時間の参加はきつく感じました、開催したとしても1日で3時間です。4つの委員会の時間の振り分けと報告の仕方について、ぜひ、もっと膝づめで話せるという別の場を、議会基本条例を活かすということで何か工夫をお願いしたいと思います。
	A	（要望のため、答弁なし。）

NO	質疑応答の要旨	
7	Q	議案第58号の説明がありませんでした。白岡町が市になると、どうして春日部市にこのような影響があるのかわかりませんので伺います。
	A	議案第58号は、10月1日から白岡町が白岡市になることに伴う条例の制定です。例えば、春日部市公民館条例において、「蓮田市、宮代町、白岡町及び杉戸町に住所を有する個人または法人その他の団体は使用できる」という条文があります。この条文の中に、「白岡町」という文言が規定されており、この部分を「白岡市」に改正するというものです。 この他、体育施設条例や市民文化会館条例についても同様な理由により改正するものです。(五十嵐委員長)
8	Q	いじめ問題について、議会では、どのように扱われたのか伺います。
	A	いじめ問題について、委員会では、個々の中身についての議論はありませんでしたが、件数については伺っておりますので、申し上げます。相談と認知の二種類がありますが、まず、各中学校にありますさわやか相談室への相談が、23年度は28人から延べ41件ありました。 また、担任や養護教員が認知したものが43人となっており、合計では、71人となっています。 なお、これまでの状況は、21年度が67人、22年度が76人と伺っています。(滝澤委員)
9	Q	英語指導助手を増員するのは、結構なことですが、海外派遣事業については子どもたちにとっていい経験になります。委員会では議論があったのでしょうか。
	A	9月定例会では、海外派遣事業についての議論は、ございませんでした。 なお、一般質問において、中学生の海外派遣事業が取り上げられ、再開について問い掛けがなされておりました。(五十嵐委員長)
10	Q	「誇りに思える魅力ある学校づくり」と書いてあるが、これは誰が誇りに思えて魅力あるというのか。誰を主体として言っているのか伺います。
	A	この事業は、各学校が行う小学校、英語、理科教育、芸術文化活動、読書活動など特色ある教育活動を支援するものです。主な事業の内容は、外国語活動の事業において補助を行う小学校英語指導助手の配置などが、この事業の内容です。この事業の成果は全小学校に英語を話せる指導助手を配置することにより、外国語活動の事業の充実が図られております。 また、カスカベ・インターナショナル・フレンドシップ・デイに参加した9割以上の子供が国際交流に関心を持ち、また参加したいと答えており、国際理解が進むなど成果が上がっています。(山口副委員長)
11	Q	耐震工事について詳しく出ており、それが特色ある学校、魅力ある学校とかどのように結びついているのか確認したいと思います。耐震工事は防災についてだと思いますが伺います。 また、特色ある学校づくりについて、外部指導員の予算を付けるとか、先生方の定数を増やして、きめ細かく教育ができるようにとかそういう声があると思いますが、市議会としてどのように考えているのか伺いたい。
	A	特色ある教育と耐震工事は別事業です。特色ある方は、特に英語、または理科の方面で力を入れていくことで、そのような取組みを特色ある教育と申し上げます。(五十嵐委員長)
12	Q	中学校音楽室のエアコン整備率が69.2パーセントと書かれていますが、パーセントで書かれると非常に分かりにくい。何件の計画に対し、何件できたというように表示してほしいと思いますがいかがでしょうか。
	A	中学校音楽室のエアコン整備率については、市民の皆様によく分かるよう、改善をしていきます。(五十嵐委員長)

NO	質疑応答の要旨	
13	Q	<p>大枝に東武線の踏切があります。その踏切が歩道の部分の道幅が狭くなっています。前の道路は広がっていて、踏切に入ると道幅が狭くなる。危険極まりない。踏切を横断をする人達から苦情が出ています。いつ事故があってもおかしくない。皆さんが嘆いています。</p> <p>議員が実際に身近な危険な箇所を見学し、至急、手を打ち、見通しを持たせてもらいたい。また、しっかりと議会の中で議論していただきたいと考えています。</p>
	A	<p>・大枝の東武線の踏切拡幅については、現状は承知しており、執行部へ伝えていきます。(五十嵐委員長)</p>
14	Q	<p>大場の学校、廃校の跡地の市有地ですが、草ぼうぼうの状況です。どういうことになっているのでしょうか。蚊は飛び、何も使う見通しもない状態のままにしているのか。近隣の人たちに計画等を示すことや管理することを、ぜひ市で議論して欲しい。</p> <p>他にもそういうことがあるのか、行政の怠慢に繋がるようなことは止めてほしい。ぜひ、議員が見て、現状を正していつてもらいたいと思います。</p>
	A	<p>・大場の廃校跡地の草の件、市有地の活用計画を近隣の皆さまへ示すことについては、執行部に伝えていきます。(五十嵐委員長)</p>
15	Q	<p>市民プールをぜひ造って欲しいので要望いたします。それまでの間は、学校のプールの開放や民間プールを使えるための補助券を出すことも一つの方法である考えます。</p>
	A	<p>・市民プールについて、執行部において様々、検討されているとのことです。</p> <p>学校のプール開放については、大人が入れるのは、保護者として、子どもの安全確保の観点から入ることができます。また、市内民間プールの補助券については、検討した経過はありますが、現在のところ予定していないと伺っています。(五十嵐委員長)</p>
16	Q	<p>国保の施設利用時の補助金について、今までは4,000円の補助金が出ていましたが、半分に減らされて、今では2,000円になっています。補助金を以前の4,000円に戻してほしいと思います。</p>
	A	<p>・施設利用時の補助金について、執行部へ確認したところ、財政状況等から現在2,000円の補助を行っており、年間2回の利用が可能とのことです。(五十嵐委員長)</p>

NO	質疑応答の要旨	
17	Q	公債費が歳出全体の約10パーセントを占めていますが、現在の債務残高がどれくらいになっているのか、伺います。
	A	<p>23年度決算の財政状況は、国が定めた財政健全化判断基準において、条件を満たしており安全な範囲です。特に財政力指数は、指数が高ければ高いほど財源に余裕があると言われており、普通交付税の交付を受けない不交付団体と言われております。不交付団体とは、指数が1ですが本市の場合は、23年度は0.783です。夕張市のような心配する状況ではありません。</p> <p>また、市債の残高ですが、23年度末時点で、一般会計が598.8億円です。国保などの特別会計、水道などの企業会計、土地開発公社など全部含めまして、市全体の総額は1,290億円になっております。(五十嵐委員長)</p>
18	Q	東口にある「ぷらっとかすかべ」というのがあると思いますけども、この利用率が最近どうなっているのか伺います。
	A	<p>・春日部市情報発信館「ぷらっとかすかべ」について、執行部に確認したところ、次のような状況になっています。(五十嵐委員長)</p> <p>平成22年度(平成22年4月～平成23年3月)の来館者等 施設来館者数 17,756人 電話対応件数 486人 合計18,242人</p> <p>平成23年度(平成23年4月～平成24年3月)の来館者等 施設来館者数 28,084人 電話対応件数 1,007人 合計29,091人</p> <p>平成24年度(平成24年4月～平成24年9月)の半期分の来館者等 施設来館者数 17,199人 電話対応件数 510人 合計17,709人</p>